



中田小

令和5年6月30日

学校教育目標

さわやか笑顔中田っ子 思い合い ひびきあい
共に生きる力を育てます。

中田小ホームページ

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nakada/>

5月以降の教室の風景から

校長 中村 真弓

6月10日に土曜参観を行いました。たくさんの保護者の方々にご来校いただき、子どもたちの学校での様子を参観していただきました。ありがとうございました。教室の中がいっぱいで、廊下からの参観になってしまった方も多かったのではないのでしょうか。

コロナ下の生活では、教室の中で間隔を取った座席にする必要がありましたが、少しずつ二人の机を付けた状態で座るようにするクラスが増えてきました。教員も机の間を回って一人ひとりの子どもに声をかけやすくなります。(授業参観のような時も、教室に入っていた人数が少しですが増えると思います。)

コロナ以前の教室では、「隣の人に自分の考えを伝えましょう」「隣の人と相談しましょう」「隣の人とお互いに発表して聞き合いましょう」など、まず、ペアで活動することが当たり前の光景でした。その光景がまた戻ってきたことに感慨を覚えます。これをきっかけに、子どもたち同士のコミュニケーションも以前のように戻ることを期待しています。

とはいえ、4年生以下の子どもたちは二人ペアの席の経験がありません。隣の席の人と話がしやすくなるのが嬉しくて、おしゃべりが増えるのではないかと心配している担任がいました。ですが、静かにするべき時に静かにできれば、おしゃべりも時にはよいのではないかと思います。そして、ペアからグループへと自然に活動が発展していくことで、お互いに理解し合える友だちが増えていくのではないのでしょうか。

コロナ後の子どもたちは、まだ人間関係初心者だと思っています。相手の表情がよく分からなくてどう思っているのか分からない、こんなこと言ってしまって大丈夫かな？自分に対して冷たいように感じるけれど怒っているのかな？ぶつかったけどわざとじゃないから謝らなくてもいいよね、声をかけたけれど返事が返ってこないのは無視されているのかな？などなど、コミュニケーションを学ぶ機会が十分になかったので少しのことで友だちとすれ違ったような思いになっていないのでしょうか。この3年間、密を避けたりずっとマスクを着けたりしていることで、同じクラスの友だちでもよく知らないまま1年過ぎてしまったり、仲がよいつもりでもお互いの顔もよく知らないままだったりしたこともあるのではないかと危惧しています。

トラブルがあっても自分の力で解決して上手に人間関係が作れるように学校でも見守っていきますが、ご家庭や地域でも子どもたちのことを温かく見守り、一緒に考えたり励ましたりしていただければと思います。そのことが子どもたちの自信と成長へつながることを願っています。



5年生が田植えをしました →